



令和2年2月13日

## 道の駅「摩周温泉」における車中泊対策試行結果

～ 駐車場の利用環境を改善し、安心して快適な休憩機能を確認する取組 ～

道の駅「摩周温泉」において、駐車場の一部を予約専用化するとともにその収益を美化活動に充てる事業を試行し、試行結果の取りまとめを行いましたので、お知らせいたします。なお、本事業は、道路協力団体制度<sup>(注)</sup>を活用し行っています。

### <試行結果のポイント>

#### ①駐車場利用環境の改善

- ・車中泊車両により駐車場が満車となる日数が減少

#### ②安心して快適な休憩機能の確保

- ・第1・第2駐車場の車中泊が1割減少し、休憩施設として安心して快適な利用環境が向上

#### ③地元での経済波及効果

- ・臨時駐車場への誘導促進策による臨時駐車場の利用増加により、第1・2駐車場の車中泊者が減少したことで、一般駐車場の利用が可能となり道の駅来訪者数が増加

#### ④道路美化活動の推進

- ・有料予約専用スペースの料金から道路協力団体が実施する清掃活動費用の一部に充当し、道路協力団体の活動推進・快適な道路環境の維持に寄与

### <実施主体>

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営代表者会議（道路協力団体制度指定団体）

注）道路協力団体制度は、道路における身近な課題の解消や道路利用者のニーズへのきめ細やかな対応などの業務に自発的に取り組む民間団体を支援し、地域の実情に応じた道路管理の充実を図ることを目的とした制度で、平成28年4月に創設されました

【道路協力団体HP】 <http://www.mlit.go.jp/road/kyoryokudantai/index.html>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 電話（ダイヤルイン）0154-24-7268

道路計画課 課長 小林 孝士（内線：3351）

道路計画課 道路調査官 南部 裕之（内線：3402）

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>





# 道の駅「摩周温泉」における車中泊対策試行の背景

## 道の駅「摩周温泉」での課題

- ① 駐車場が車中泊車両で満車となり、休憩を目的とした一般利用者が駐車できない状況。特に7月～8月の週末は満車となり、道路上での車中泊も発生。
- ② ゴミの放置、トイレでの水くみなど、一部の車中泊利用者の利用マナーの悪さが指摘されている。



車中泊車で満車状態の駐車場



道路上にはみ出して車中泊している車両

## 課題発生の原因

- 24h使用可能な無料のトイレと駐車場を備え、周辺には観光地が点在している道東観光の拠点であるため、車中泊車両が集中。
- 利用者が求める「ゴミ回収」「電気利用」について、利用者と施設管理者の間で取り決めがない。



平成27年6月  
道東地域が広域観光周遊ルート(アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし 北・海・道)に認定  
道の駅「摩周温泉」(弟子屈町)は道東周遊観光の中心拠点に位置する。

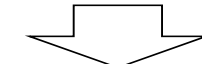
## 本取組の目的(対策方法・期待される効果)

### 【取組内容】

- 駐車ルールを明確化するため、駐車場内に看板を設置し、車中泊可能な臨時駐車場や近隣のキャンプ場へ誘導案内
- 「道の駅」駐車場(道路区域)の一部を予約専用化し貸し出すと共に、ゴミの回収や電源使用サービスを提供
- サービス利用者が支払う料金は、ゴミの回収や電気利用に係る費用の他、道路協力団体が行う清掃活動などに充当

### 【効果】

#### ○「道の駅」駐車場の満車状態の解消



#### ・ 駐車場利用環境の改善

車中泊による長期駐車スペース滞在者の減少や、「道の駅」駐車場に放置されるゴミの量が減少

#### ・ 安心して快適な休憩施設の確保

一般の利用者がいつでも安心して快適な休憩が可能

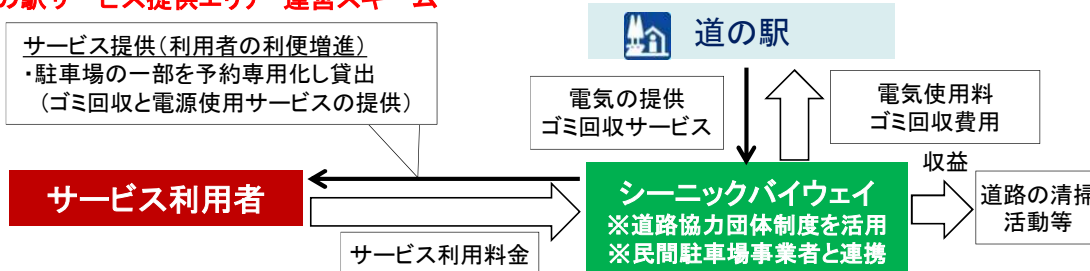
#### ・ 地元での経済波及効果

一般の駐車場利用者が増加し、周辺地域の回遊性向上により、地元での購買や観光促進

#### ○道路美化活動の推進

収益が道路協力団体の活動(清掃活動など)に充当され、活動の推進及び道路管理のコスト縮減

### 道の駅サービス提供エリア 運営スキーム







# 道の駅「摩周温泉」における車中泊対策試行の概要

## <実施期間・利用期間>

- ・8月5日(月)～8月19日(月)
- ・AM10:00～翌日10:00(24時間)

## <利用料金>

- ・1,500円(台/日)
- (ゴミ回収や電気利用の提供に係る料金を含む)

## <有料予約専用スペースの仕様>

- ・道の駅「摩周温泉」第1駐車場(道路区域)において、3マス設置(内1マスを予備)
- ⇒長さ約5m×幅約3.3m

## <有料予約専用スペースの運営>

- ・予約受付、料金收受、24hのトラブル対応についてはタイムズ24株式会社が対応

## <有料予約専用スペースの利用方法>

- ・「タイムズクラブ」に会員登録
- ・WEB上で駐車場を選択し予約
- ・支払い方法はクレジットカードのみ
- ・利用者は駐車マスを時間内に自由に入出りできるため、弟子屈町市街の飲食店や入浴・温泉施設等を利用することも可能

## <予約方法>

「摩周温泉」で検索  
「現在地から探す」でも検索可能



## <有料予約専用スペース>

有料予約専用スペース  
2マス貸し出し+予備1マス

代替スペースの確保  
第1駐車場内に4台

臨時駐車場(町)(50台)



# 道の駅「摩周温泉」における車中泊対策試行の結果

## 結果① 駐車場利用環境の改善、安心して快適な休憩施設の確保

- 有料予約専用スペースの利用率は約6割。臨時駐車場への誘導看板の設置により、臨時駐車場を利用する車中泊台数が運用を開始した2018年に比べ増加
- 結果、トイレや情報提供施設に近い第1・第2駐車場の車中泊台数は約1割減少、駐車場が満車となる日数も半減
- 一般の利用者が「道の駅」で休憩するためのスペース確保の効果はみられた。しかしながら、未だ多くの車中泊車両が存在

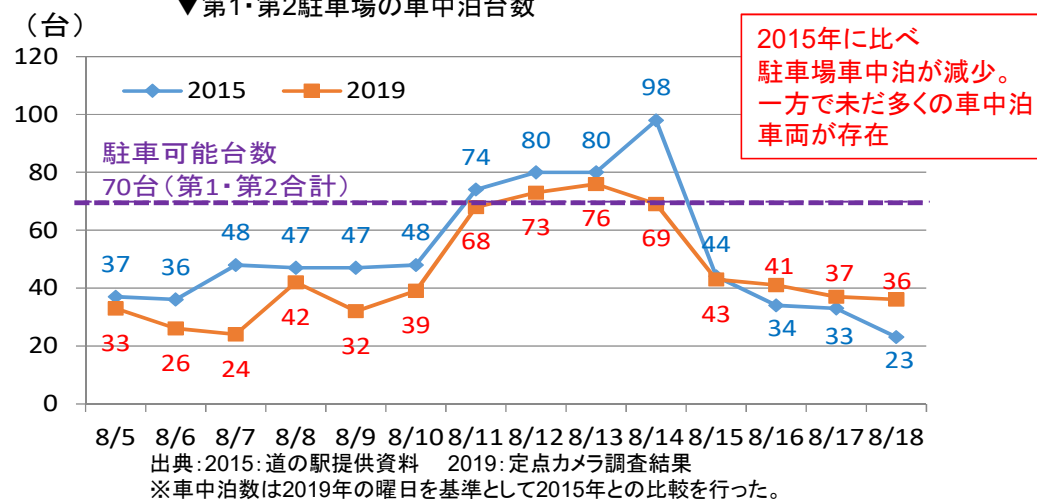
▼有料予約専用スペースの利用状況 ※8/11 24時



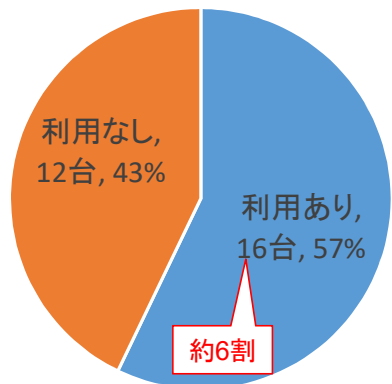
▼臨時駐車場の利用状況 ※8/12 5時



▼第1・第2駐車場の車中泊台数



▼有料予約専用スペースの利用状況

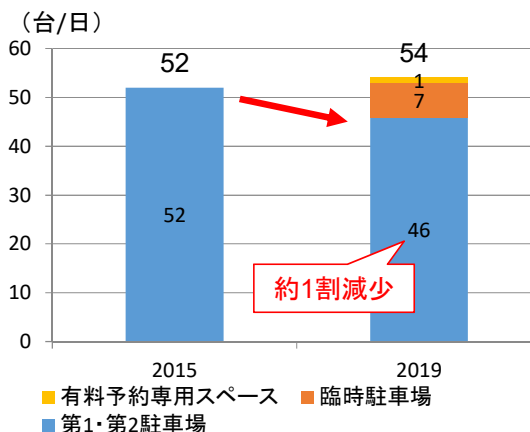


出典: 釧路開発建設部調べ

### <道の駅運営者の声>

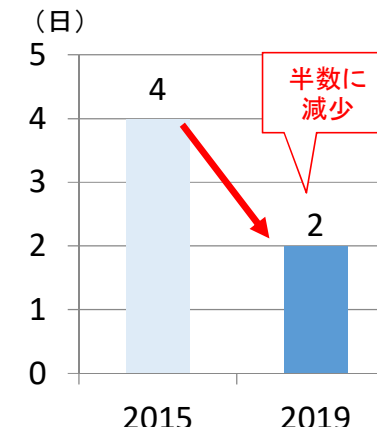
・今回の取組により、これまではほとんど利用されなかった臨時駐車場の利用が増え、車中泊車両で満杯となる第1・第2駐車場に空きスペースが生まれました。

▼車中泊台数の比較(日平均)



出典: 2015: 道の駅提供資料 2019: 定点カメラ調査結果 ※臨時駐車場は2018年供用

▼第1・第2駐車場の満車日数の比較



出典: 2015: 道の駅提供資料 (14日間: 8/5~8/18) 2019: 定点カメラ調査結果 (14日間: 8/5~8/18) ※臨時駐車場は2018年供用



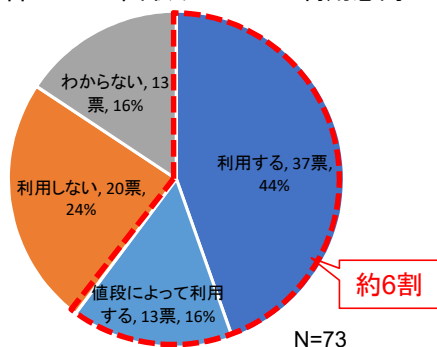


# 道の駅「摩周温泉」における車中泊対策試行の結果

## 結果② 駐車場利用環境の改善(ゴミの量の減少)

- 有料予約専用スペースでは、設置されたゴミ箱が利用され、マナーが守られていた
- 有料でのゴミ回収サービスの利用意向も約6割と高く、当試行によるマナー向上効果は関係者からも期待が高い

▼有料でのゴミ回収サービスの利用意向



出典:道の駅利用者アンケート調査結果

▼有料予約専用スペース設置のゴミ箱



▼道の駅に設置された既存のゴミ箱(資源ゴミのみ)



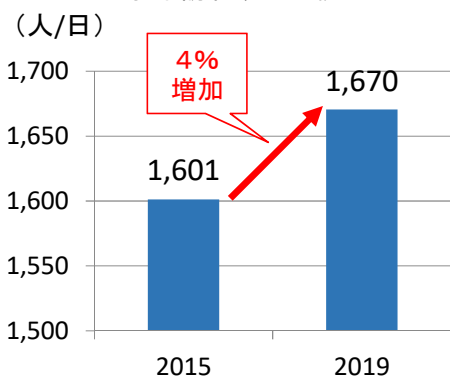
### <道の駅運営者の声>

・マナーが守られている有料予約専用スペースの設置により、マナーを守ろうという意識が周辺にもでき、当試行はマナーの向上やゴミのポイ捨ての減少に効果があると思われる。

## 結果③ 地元での経済波及効果

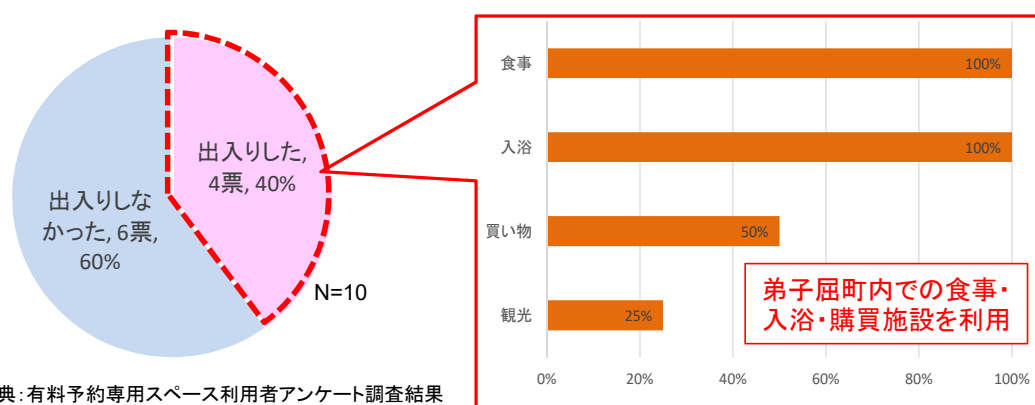
- 駐車場利用環境の改善により、一般利用者の第1・2駐車場の利用が促進され、「道の駅」来訪者数の増加に寄与
- 有料予約専用スペースの利用者は専用の駐車マスを確保できるため、「道の駅」を自由に出入りすることが可能となり、4割が弟子屈町内での食事や入浴施設・購買施設を利用
- 道の駅運営者も道の駅の売上げ等への効果を期待

▼道の駅来訪者数の比較



出典:道の駅提供資料

▼有料予約専用スペース利用者の駐車場の出入状況と行き先



出典:有料予約専用スペース利用者アンケート調査結果

### <道の駅運営者の声>

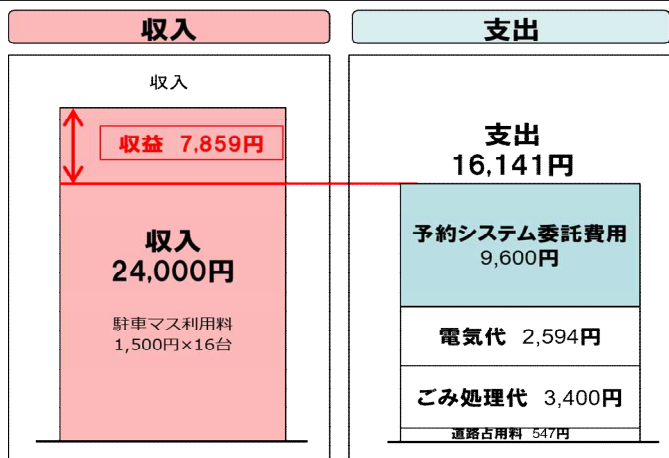
・臨時駐車場の利用が増え、第1・第2駐車場を利用しやすくなったように感じています。道の駅の売上も増えることを期待します。



# 道の駅「摩周温泉」における車中泊対策試行の結果

## 結果④ 試行の収益道路美化活動の推進

- 本試行による収入は初期投資を除いた支出を上回ったことから、今後継続する場合は収益をシーニックバイウェイの活動団体が行う道路清掃活動費に充当することが可能となり、道路協力団体の活動推進・快適な道路環境の維持に寄与
- ただし、本取組を実施する場合は初期設備費用の調査や設置期間を検討し、運用時の収益性の検証が必要



▼釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルートによる道路清掃活動の様子



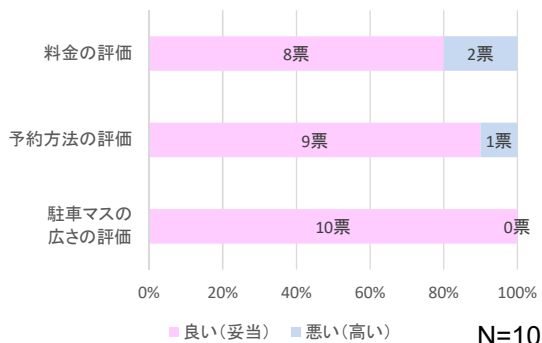
▼設備費用等

看板作成、駐車マス区画整備、電気工事、広報費等

## 結果⑤ 有料予約専用スペースに対する評価

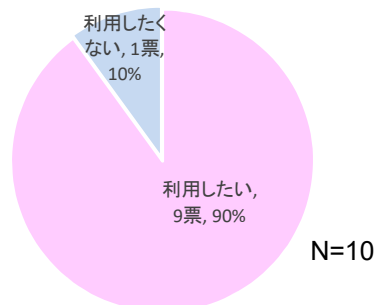
- 有料予約専用スペース利用者からは、料金、予約のしやすさ、駐車マスの広さなどについて妥当であるとの評価  
また、約9割がまた利用したいというリピート意向
- 一方、有料予約専用スペースを利用していない道の駅利用者からは、料金に対して約半数が高いと回答しているが、スペースの設置台数をもっと増やすべきとの意見が多く、料金についての抵抗はあるものの、取組自体のニーズはあると思われる

▼有料予約専用駐車スペース利用者の評価



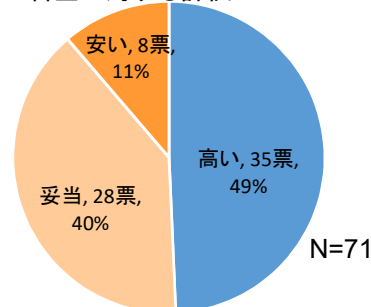
出典：有料予約専用スペース利用者アンケート調査結果

▼有料予約専用スペース利用者のリピート意向



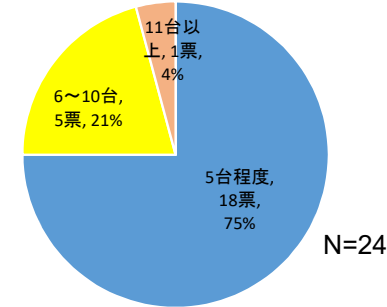
出典：有料予約専用スペース利用者アンケート調査結果

▼有料予約専用スペースの料金に対する評価



出典：有料予約専用スペースを利用していない「道の駅」利用者へのヒアリング調査結果

▼有料予約専用スペースの設置台数に対する評価



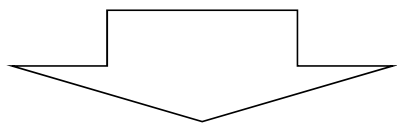
出典：有料予約専用スペースを利用していない「道の駅」利用者へのヒアリング調査結果



# 試行の成果と今後に向けた課題・取組

## 車中泊対策試行の成果

- 有料予約専用スペースの設置及び臨時駐車場への誘導案内により、駐車場が満車となる日数が減少したことから、駐車場利用環境の改善効果が確認
- 有料予約専用スペースの設置によるマナー向上効果は道の駅運営者からも期待が高く、有料でのゴミ回収サービスのニーズも高いことが確認された。一方で、放置ゴミの量に大きな変化はみられなかった
- 駐車場利用環境の改善により、一般利用者の第1・2駐車場の利用が促進され、「道の駅」来訪者数が増加したことにより、今後の「道の駅」の売上げ増加が期待



## 今後に向けた課題・取組

- 一般の利用者が「道の駅」で休憩するためのスペース確保の効果はみられたが、未だ多くの車中泊車両が存在していることから、さらなる駐車場利用環境の改善に向けた検討が必要  
⇒有料予約専用スペースの適正台数や実施期間、運用内容等、利用者評価を踏まえた方策を検討
- 道の駅利用者が求めるニーズを把握することが利用マナーの向上に寄与するため、さらなる取組の検討が必要  
⇒今回の試行では有料予約専用スペース利用者のみが、ゴミの回収サービスを利用できたが、サービス受益者の拡大を検討
- 道の駅や地元での経済活動をより活性化させるための方策が必要  
⇒有料予約専用スペース利用者への町内施設の利用を促す取組を地元と連携し検討